



第14号

偕楽園公園を愛する市民の会

事務所  
〒310-0845  
水戸市吉沢町2-22  
湊 正雄 方

Tel・Fax  
029-247-0438

ホームページ  
<http://www.kairaku-en.jp/>

### 『偕楽園なんでも百科改訂版』発行

平成二十八年の「梅まつり」を前に『偕楽園なんでも百科 改訂版』を二月二十日に刊行いたしました。直ぐに販売を引き受けていただいた川又書店と茨城県観光物産協会売店（偕楽園公園内の見晴亭内）、偕楽園レストハウス売店などに運ばれ、店頭と並びました。順調に売れているようです。趣のある表紙（ちなみにこの偕楽園の絵は湊会長の作品です）と一冊五〇〇円という手軽さに惹かれて手に取った人が、豊富な写真と読みやすい文章に納得して買っていかれるようです。



### 改訂版の特徴

#### ①震災による被災と復旧を紹介

東日本大震災から五年が過ぎ、目立った被害の跡が残っていない水戸市では、次第に忘れられていこうとしています。改訂版には偕楽園と弘道館にそれぞれ二ページを割いて被災と復旧・復興の様子を記載しました。重要な文化財についての被災と復興の貴重な記録・資料になります。また、文化財を守り、継承するには、多くの人々の思いと関係者の多大な努力があることを理解すれば、文化財や歴史を大切にすることが養なわれることと思えます。

#### ②「日本遺産」について説明

弘道館と偕楽園、水戸彰考館跡、日新塾跡、「大日本史」の旧水戸藩の五つの歴史資産が最初の日本遺産の一つに認定されました。これを受けて「日本遺産」の意味や意義を説明しました。偕楽園と弘道館とこれらを作った水戸藩については初版にも記載されていますが、偕楽園が「教育遺産」として認められる理由である弘道館と偕楽園の「一張一弛」の深い結びつきについて記述しました。

#### ③一般書店でも販売

初版は学校での教材として使用することを目的に発行し、市販しませんでした。しかし、教育や観光、案内等に携わる人々から入手したいとの要望が強いため、一部お分けしていました。改訂にあたっては、資料提供者、執筆者等に了承してもらい、一般市民や観光客にも購入していただけるよう市販の書籍としました。

### 改訂版発行の経緯

初版発行直前に大震災が起り、偕楽

園・弘道館は大きな被害を受け、その復興によっていくつかわりがありました。本会の事業にも変化があり、市販への要望が強く寄せられたことから改訂版の発行を計画しました。

弘道館の復興がなった平成二十六年に、水戸市の「わくわくプロジェクト」に改訂版の発行を応募しましたが、残念ながら不採用になり、二十七年の事業として取り組みました。初版の編集と執筆にあたった会員の有志を中心に編集委員会を編成して作業をすすめました。



大詰めの編集会議

改訂版は「震災復興記念」とする予定でしたが、平成二十七年四月、弘道館・偕楽園他が、「近世日本の教育遺産群」として日本遺産に認定されたことから、「日本遺産」認定も記念する改訂版とすることになりました。

震災被害と復興の内容については、茨城県偕楽園事務所と弘道館事務所の全面的な協力を得て原稿ができました。日本遺産については、文化庁のホームページと水戸市教育委員会の刊行物を参考に、ストーリーを明らかにすることに努めました。

そのほか、初版以後の変化をふまえて記述や写真を変更し、要望が強かった偕楽園の門や偕楽園公園の現状についての記述を加え、十二月に原稿を完成しました。

### 改訂版の販売について

今回は、水戸市への寄付は二〇〇部にとどめました。学校と図書館や市民センターで活用していただくことを期待します。

観光客向けには、茨城県観光物産協会（偕楽園見晴亭内）、偕楽園レストハウス売店、

## 活動報告

### 弘道館 親子の論語塾

「論語委員会」

論語塾七期目の後期は、例年だと茨城県水戸生涯学習センターで行う十一月まで、弘道館で開催しました。



11月弘道館至善堂

十一月は暖冬の影響でさほど冷え込まず、雨戸と障子開放しても大丈夫でした。弘道館は、書見台が置かれています。先生と受講生や受講生同士の距離が近く、親密に一緒に学んでいるという実感がわくのです。（十一月の写真と見比べていただければわかります）



12月生涯学習センター

そこで次年度も十一月まで弘道館で開催することにしました。

# 活動報告

## 大名庭園サミット金沢大会

交流委員会

平成二十七年十一月十九日、二十日、大名庭園民間交流協議会の交流会、大名庭園サミットが兼六園（石川県金沢市）で開催されました。十回目となる今回、当会からは三十三名と今までにない参加者がありました。

大会テーマは「大名庭園の価値を伝えよう」で、十九日午後、石川県立音楽堂を会場に講演とパネルディスカッションが行われました。最初に、進士五十八東京農大名誉教授（同協議会顧問）の「大名庭園の価値と活用」庭園からのふるさと創造」と題した基調講演が行われました。進士氏は



進士顧問の基調講演

「大名庭園は、それぞれ実用性と美しさ、地域らしさをもち個性がある。大名庭園の集まりは多様な個性の集合体で、大きく見ればそれが地球の持続性を支えるものとなっている。大名庭園を応用した大きな規模の町づくり『緑と農の町づくり』を実践しよう」と呼びかけられました。

パネルディスカッション「大名庭園の価値を伝えるために」は各団体が、各庭園の見所、その作庭思想や表現技術、復元整備状況、価値を伝える工夫等を発表しました。本会からは、見所として①梅園、②好文亭を取り上げて湊会長が報告しました。それぞれの団体が金沢城兼六園研究会の手法にならって報告したため、まとまりのあるディスカッションができました。

大会宣言では、「大名庭園の価値」を伝える活動をより力強く進めることを決意して、「(一) 平易な読本を作成する、(二)

管理者と協議を重ね地域独自のものにする、(三) 大名庭園の価値を伝えるガイド活動・子どもふるさと教育について工夫する」の三点を今後具体的に推進していくことが述べられました。



湊会長の発言

その後会場を移して交流懇親会。西茶屋芸妓の踊りで幕を開け地元食材料理に舌鼓を打ち、地酒飲み放題で盛り上がり、他団体との親交を深めました。今年根岸副会長（水戸黄門漫遊一座）が黄門さまを演じ、歓迎されていました。翌二十日はエクスカッションで参加者は希望したコースを主催団体と地元ガイドさんの案内によって観光しました。



根岸副会長の黄門さま

参加者からは、次のような感想が寄せられました。「誇りとす大名庭園を学び、伝えるという基本に戻り、お祭り騒ぎで終わらせまいとする意気込みを感じた。」「参加しまして一番感じたこと、それは皆さんが『楽しんで』ことです。皆さんが行動する原動力、それは『楽しさ』なんです。」

大会に先んじて十一月七日に事前学習会を当会顧問久野勝弥氏を講師に開きました。また、平成二十八年一月十五日に反省会を開きました。

## 今年度の活動計画

### 通常総会・総会記念講演会

平成二十八年度の通常総会および総会記念講演会を開催します。

日時 平成二十八年四月二十一日

午後一時三〇分～四時

場所 茨城県水戸生涯学習センター

大講座室（県三の丸庁舎三階）

総会では、二年に一度の役員改選が行われます。また、記念講演では、水戸市教育委員会歴史文化財課の関口慶久氏に次の演題で話していただきます。

「地域遺産を活かす」

―世界遺産を目指す学問の府・水戸―

## 「偕楽園なんでも百科改訂版」の普及

「偕楽園なんでも百科」は、桜まつり、つつじ祭りの時期や日本遺産の弘道館を訪ねる観光客に喜んでいただきましたが、これからは地元の住民に普及することが大事になってきます。

偕楽園の魅力満載のこの本を案内書として、偕楽園の多様な姿を知ってもらい、楽しんでもらう。さまざまな機会にいる人々に地道に薦めていきたいと思います。

## 新緑の沢渡川を歩こう

「偕楽園公園魅力発信プロジェクト」展示とワークショップを開催した七団体は、偕楽園公園の魅力を感じ合い、さらに新たな魅力創出のために活動し発信する取組を「偕楽園公園魅力発信プロジェクト」として企画することとなりました。

日時 平成二十八年四月三十日（土）

九時三〇分～十二時 小雨決行

集合場所 偕楽園公園センター玄関

参加費一〇〇円（保険料）先着三〇名



東町運動公園から見た沢渡川緑地

沢渡川緑地は、北は東町運動公園と茨城県立歴史館、南は常磐大学と桜ヶ丘アパートにはさまれた約一九ヘクタールの谷間で、新緑のころは主に湿地の動植物が見られることでしょう。

沢渡川緑地は沢渡川の付替工事が予定されています。また東町運動公園の改修工事と、二〇一九年の国民体育大会開催の影響が予想されます。現状を観察して今後のあり方を考えたいと思います。

## 展示会 偕楽園公園の魅力発信

「七団体の活動視点からのメッセージ」

「偕楽園公園魅力発信プロジェクト」

今年度も七団体による展示会を開催しますが、期間が一週間に短縮されます。

期日 五月十六日（月）～二十二日（日）

会場 偕楽園公園センター展示室

五月二十一日（土） 木の実工作

五月二十二日（日） クイズスタンプラリー

両日とも拙誠会による「茶の湯を楽しむ」を実施します（場所未定）。

詳細は、後日チラシとホームページでお知らせします。

「弘道館 親と子の論語塾」第八期

「論語委員会」

今年度も、今まで通り毎月第一土曜日に安岡定子先生を迎えて開催します。会場は春は秋が弘道館、冬が茨城県水戸生涯学習センター講座室です。今年度は十一月まで弘道館で行います。

四月二日、五月七日、六月四日、七月二日、八月六日、九月三日、十月一日、十一月五日、弘道館至善堂

十二月三日、一月七日、二月四日、三月四日、茨城県水戸生涯学習センター講座室（茨城県三の丸庁舎三階）

時間十時三〇分～十一時三〇分

詳細はホームページをご覧ください。

## 大名庭園サミット熊本大会

「交流委員会」

第十一回目となる今年度の大名庭園民間交流会は、新加盟の「NPO法人ふるさと」の夢と文化を育てる会が事務局となつて、熊本県の水前寺成趣園で行われます。

大会テーマ 未定

期日 未定（十一月二十四日前後の見込）

場所 水前寺成趣園（熊本県熊本市）  
確定したらホームページでお知らせいたします。